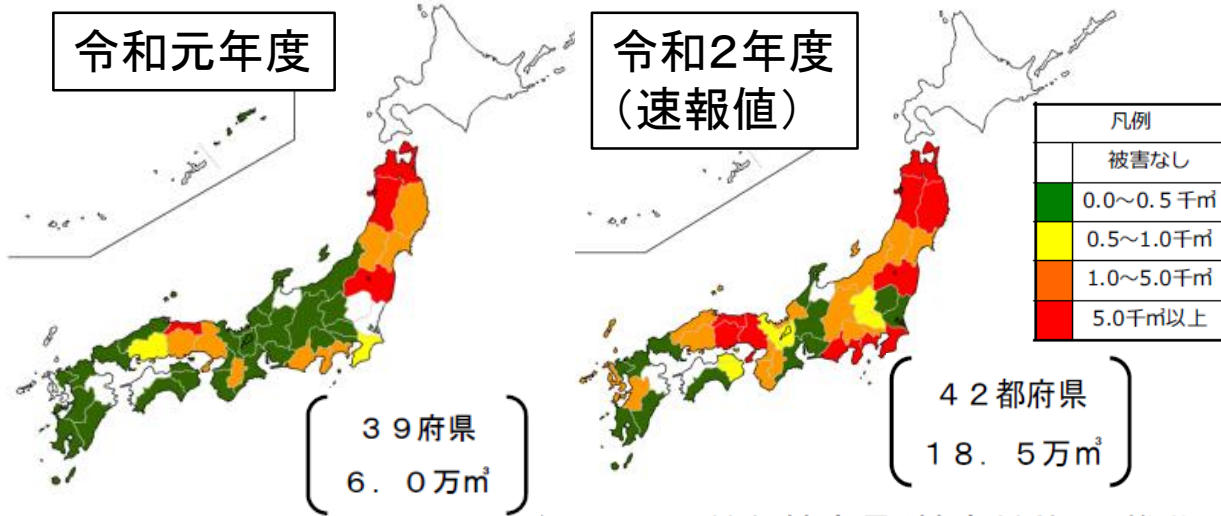


ナラ枯れ被害状況及び 被害対策について

岡山県農林水産部治山課

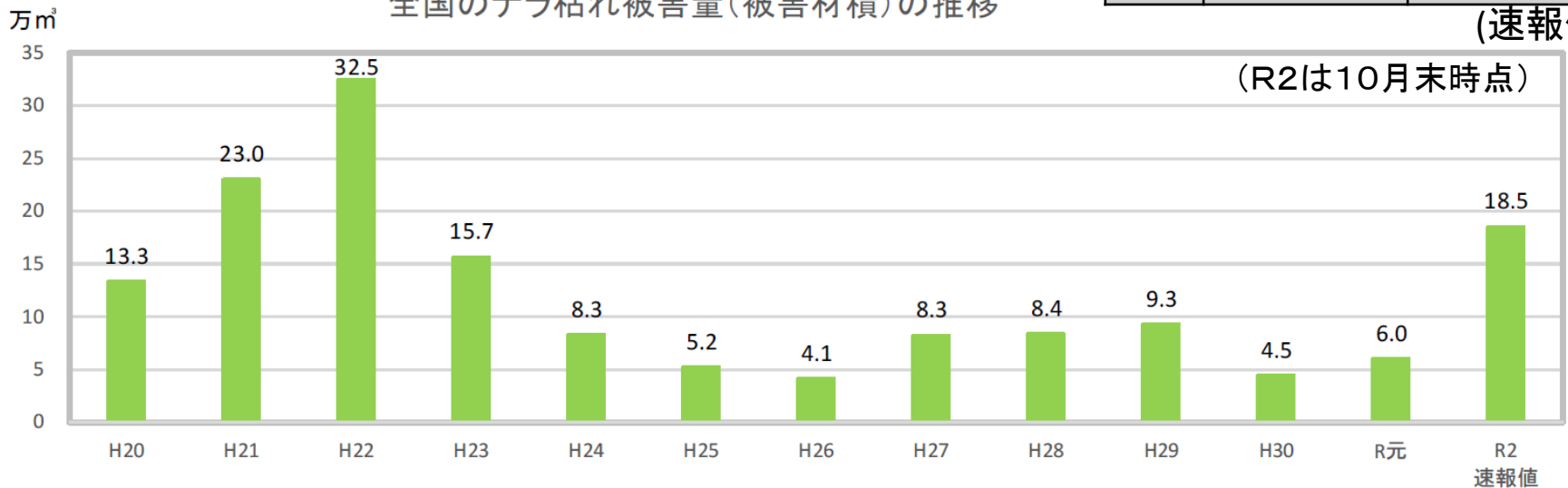
(1) ナラ枯れ被害状況 (全国)

- 令和元年度の全国のナラ枯れ被害量は、前年度より増加し、約6万m³となっている。
- 令和2年度の被害量速報値では、42都府県で約18.5万m³となった。



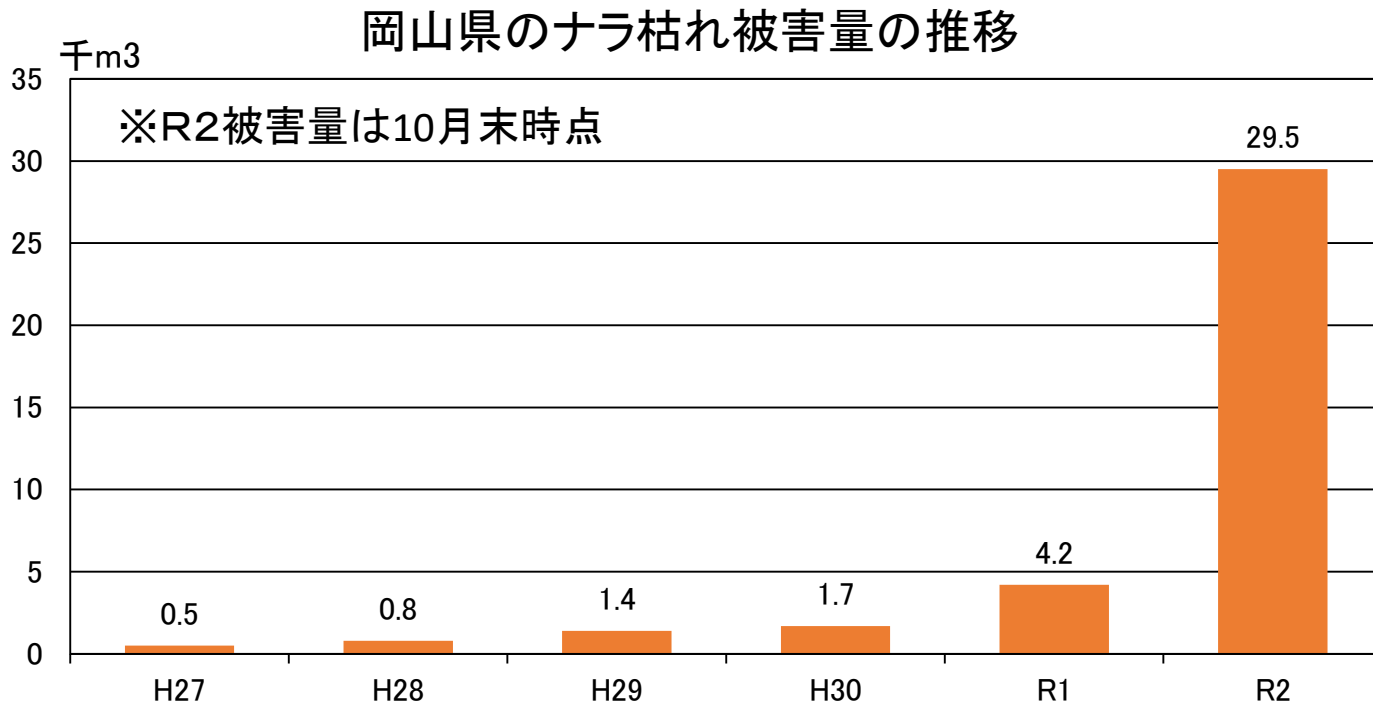
1位	岡山県	29.5千m ³
2位	宮城県	22.7千m ³
3位	福島県	21.1千m ³
4位	青森県	19.8千m ³
5位	鳥取県	11.9千m ³
5位	神奈川県	11.9千m ³

(速報値)



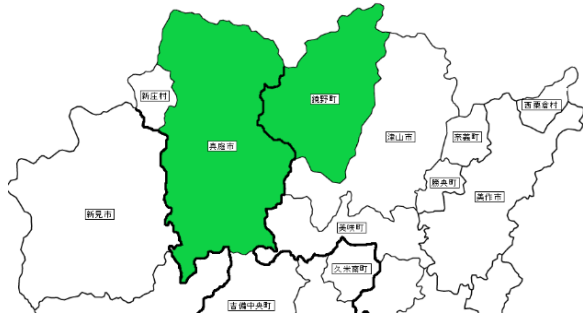
(2) ナラ枯れ被害状況（岡山県）

- 岡山県でのナラ枯れ被害は、平成21年度に初めて被害が確認され、平成25年度に一時減少した後、近年は増加傾向にあり、令和元年度は平成30年度の約2.5倍の約4.2千 m^3 に増加している。
- 令和2年度の林野庁速報値（10月末）では、約29.5千 m^3 で、全国1位の被害量となり、令和元年の約7倍に増加している。
- 被害は県北部の鳥取県境付近に集中しているが、平成29年度には新庄村、平成30年度には新見市、令和2年度には美咲町において新たに被害が確認されるなど被害は拡大しつつある。特に真庭市において被害が急速に拡大している。

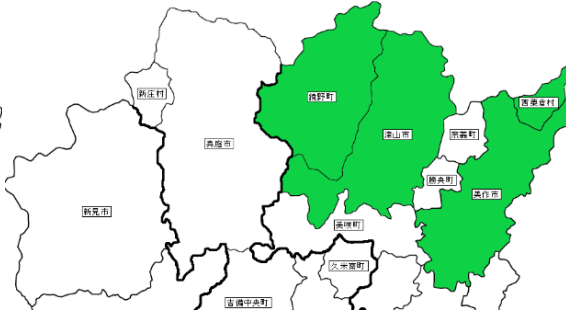


(2) ナラ枯れ被害状況（岡山県）

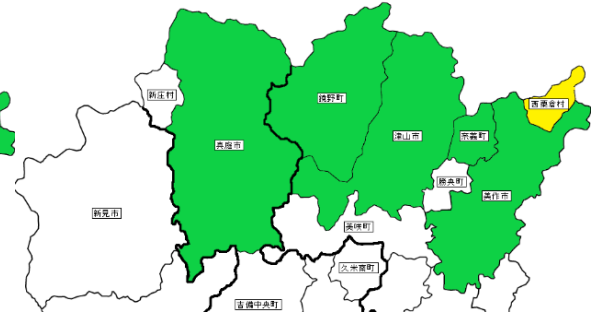
平成21年度
(発生初年度)



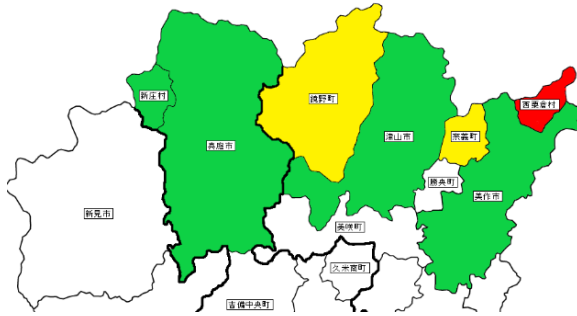
平成25年度



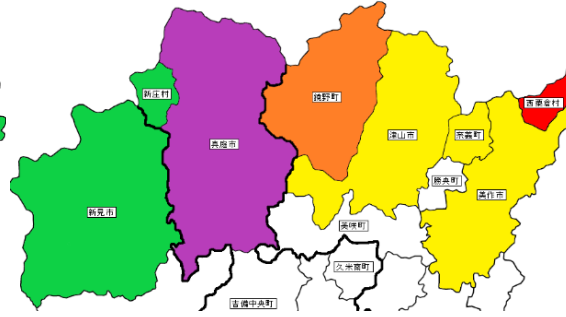
平成27年度



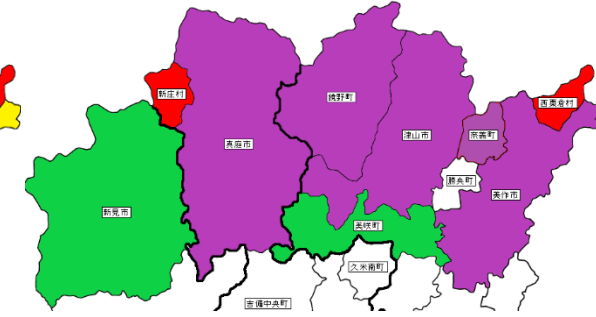
平成29年度








令和元年度



令和2年度



※令和3年度は、8月末時点で岡山市、備前市でも新たな被害が確認されており、被害エリアは県南地域へ拡大しつつある。

区分	被害量
	100㎡未満
	100㎡以上300㎡未満
	300㎡以上500㎡未満
	500㎡以上1,000㎡未満
	1,000㎡以上

(3) ナラ枯れ被害対策の取り組み（岡山県）

- 県内のナラ枯れ被害が拡大してきていることから、総合的なナラ枯れ被害対策を進めるため、令和3年3月に「岡山県ナラ枯れ被害対策基本方針」を定めた。
- この基本方針では、未被害地への被害拡大防止や、被害を受けにくい森林への誘導を目標に、県、市町村等関係機関が連携して効果的な防除事業を促進することとしており、地域の実情に応じた防除対策を講じられるよう支援しているところである。

岡山県ナラ枯れ被害対策基本方針

令和3年3月
岡山県治山課

1 目的

県内の民有林におけるナラ枯れ被害については、平成21年に県北部で初めて確認されて以降、被害が拡大しており、被害木の枝の落下や倒木、森林の持つ多面的機能の低下、景観への影響などが懸念される。

このため、県、市町村等関係機関が連携した総合的なナラ枯れ被害対策を推進するため、基本的な方針を定める。

2 目標

(1) **地域の実情に応じた被害対策を実施し、未被害地への被害の拡大を最小限に抑える。**

(2) **被害を受けにくい森林へ誘導する。**

3 具体的な実施方法

(1) **被害の迅速な把握**

放置された被害木は、翌年度以降の新たな発生源となり、さらなる被害拡大の要因となるため、未被害地での被害発生を早期発見など、被害状況を的確に把握する。

・航空映像等による被害木の探査 ・県民からの情報収集 等

(2) **防除対策の推進**

ナラ枯れ被害の拡大を防止するため、カシノナガキタイムシ（以下、「カシナガ」という。）が羽化飛出するまでに駆除対策を実施することとし、特に新たな被害地や被害の先端地、人が利用する場所での駆除を促進する。

・伐倒くん蒸 ・立木くん蒸 ・伐倒整理(焼却、破砕等) ・誘引捕殺 等

(3) **予防対策の推進**

ナラ類の大径木化がナラ枯れ発生の大きな要因の一つに挙げられていることから、高齢木や大径木の積極的な伐採と利用を促進し、森林の若返りを図る。

カシナガの個体数密度を低減し、穿入生存木（※）を増加させることにより、ナラ枯れ被害に強い森林への転換を図るとともに、自然公園や景勝地等の景観上重要な森林などにおいて、被害状況等を踏まえ、予防対策を実施する。

※穿入生存木：カシナガの穿入を受けても生き残っている木。

次年度以降再度穿入を受けても枯死する確率が低い。

・樹幹注入(殺菌剤の注入) ・誘引捕殺 ・被害拡大の恐れのある木の移動の制限 等

(4) **関係機関との情報共有等**

効果的な防除対策を推進するため、国有林、隣接県等との連携を図り、被害情報や駆除対策、試験研究などの情報共有を進めるとともに、倒木、落枝による被害の恐れのある地域での注意喚起を行う。

・隣接県との情報交換 ・被害状況に応じた地域ごとの連絡協議会の設置 等

(4) 令和2年度のナラ枯れ被害対策の概要

市町村等の取組

市町村	事業量					
	樹幹注入	誘引捕殺	地上探査	春駆除	秋駆除	駆除計
新見市			10ha	7m ³		7m ³
真庭市		150基	14ha	7m ³		7m ³
新庄村					9m ³	9m ³
津山市			100ha	175m ³		175m ³
鏡野町			268ha		315m ³	315m ³
美作市			52ha	133m ³		133m ³
奈義町		9基	60ha	129m ³	42m ³	171m ³
西粟倉村	194本					
県 (県立森林公園)			230ha	185m ³		185m ³
計	194本	159基	734ha	636m ³	366m ³	1,002m ³

国の取組

- ・自衛隊日本原駐屯地内のナラ枯れ被害について、奈義町、自衛隊、県民局による対策会議を設置し、地上探査と駆除を実施。
- ・岡山森林管理署が景観上重要な箇所である蒜山大山スカイライン沿いを中心に被害の予防、駆除対策を実施。